

コーポレートメンバー

株式会社 クラレ

繊維資材事業部 原料資材第二部第一課 川島 則子

1. はじめに

私どもクラレグループは、「世のため人のため」に「他人（ひと）のやれないことをやる」という社会的責任と独自技術を追求し、高分子・合成技術をベースにした高機能繊維、樹脂、化学品分野などへさまざまな素材を提供しております。

そこで今回は、当部で取り扱っている土木・建築分野向け製品の中から、代表的な商品をご紹介します。

2. <Jグリッド>・・・盛土補強用面状補強材

補強土壁工法「RRR工法」向けに、面状補強材<Jグリッド>を提供しています。

<Jグリッド>の素材は耐アルカリ性に優れたビニロン繊維で、製品の破断強度は主方向・従方向同等（2軸）で、信頼性の高い製品です。

近年新たに開発された「RRR-A工法」（補強土橋台・橋梁）にも採用されました。

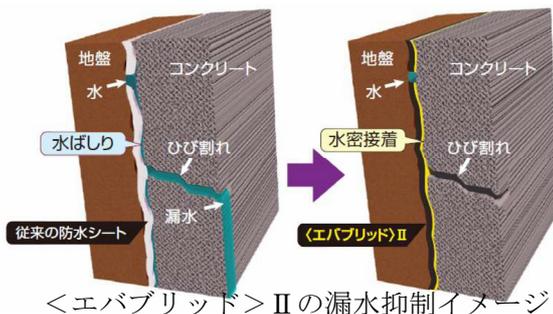


3. <エバブリッド>・<エバブリッド>Ⅱ・・・化学接着性防水シート

トンネルや地下水位以下に構築される構造物などの、漏水による躯体コンクリートの劣化や漏水処理費用軽減の抜本的対策として、コンクリートとシートの界面の水みち対策向けに防水シート<エバブリッド>・<エバブリッド>Ⅱを展開しています。

<エバブリッド>・<エバブリッド>Ⅱは、公益財団法人鉄道総合技術研究所と共同開発した製品で、フレッシュコンクリートと化学的に反応して強固に接着し漏水を抑制します。

平成23年に新たにラインナップした<エバブリッド>Ⅱは、下地への追従性が良好で軽量なため取り扱い性に優れ、工事のトータル的なコストダウンも可能にしました。

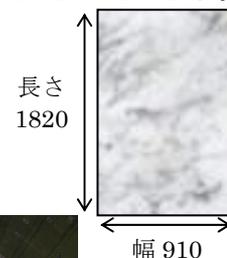


4. <パワロン>ボード・・・PVA繊維補強高靱性セメントボード

<パワロン>ボードは、ビニロン繊維（PVA：ポリビニルアルコール）で補強し、抄造方式で製造したセメント系板状製品です。工場生産品のため安定した品質で量産でき、薄くて軽く、耐久性に優れており、現場での加工（カット・穴開け）が可能で、高い靱性を有しています。土木・建築市場で、構造物の補修・補強、ライフサイクルコストの低減に貢献できる可能性を秘めた材料です。

現在は補修分野を中心に、埋設型枠として高欄やトンネルや水路の補修などに使用されています。

品番	厚さ(mm)	サイズ(幅×長さ)
PBM60	6.0	910mm×1820mm
PBM85	8.5	



5. アフタープロテクション（AP工法）・・・湿式吹付耐震補強工法用プレミックス材

既存建築物の耐震補強工事のニーズは高まっていますが、施工上のさまざまな制約が工場の妨げになっていることもあります。そこで弊社は、騒音問題・生コンなどの水もれ問題・厳しい工期・狭隘な作業場所といった過酷な現場でも施工可能なAP工法を開発しました。（一般財団法人日本建築防災協会の技術評価取得済み）

AP工法はビニロン繊維を混入したプレミックス材を湿式方式で吹付け壁を構築するもので、型枠設置が不要で一度に300mm程度の厚みを吹付けることが可能。ビニロン繊維によりひび割れ抑制効果を高めています。AP工法は高い品質の耐震補強工事を実現しています。



施工状況



テナントビル



工場

6. おわりに

IGS日本支部の今後ますますのご発展に寄与すべく、弊社は独創性の高い技術で会員の皆様のご要望にお応えし、新たな用途開発・産業の新領域を開拓してまいりたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

※各種製品へのお問合せはお気軽にご連絡下さいますようお願いいたします。

株式会社クラレ 原料資材第二部第一課 川島 TEL：03-6701-1373